

平成 30 年 1 月 22 日
福岡支部事業部

地域社会貢献活動の実施について(福岡支部)

企業の社会的責任（CSR）の一環である地域社会貢献活動として、福岡支部のお客さま「公益財団法人九州盲導犬協会」様（福岡県糸島市）に、寄付金を贈呈しました。



平成 30 年 1 月 11 日(木)に九州盲導犬協会様を訪問し、贈呈式が執り行われ、松野支部長より、視覚障がい者のため盲導犬育成に活用して頂きたい旨を田中久也・九州盲導犬協会理事長にお伝えし、目録を手渡されました。

九州盲導犬協会様は、福岡県糸島市の環境豊かな場所に位置し、平成 17 年からご契約いただいています。

盲導犬協会の訓練センターには、常時 30 頭程の訓練犬が飼育され、現在 7 人の訓練士が日々訓練にあたっているとのことでした。

盲導犬として活躍できるためには、日々の訓練の結果、健康な犬であることや盲導犬としての適性を見て、適性をクリアした犬だけが盲導犬になれるとのことでした。訓練犬全体の 30%（年間 8 頭程度）が視覚障がい者の皆さんへ貸与されるといふ厳しい現実の中、盲導犬の育成には、多くの時間と多額の費用がかかるとのことでした。

田中理事長から「いただいた寄付金は、盲導犬育成のため、大切にに使わせていただきます」と述べられ、松野支部長に感謝状が手渡されました。



今回の活動については、平成 30 年 1 月 18 日付の電気新聞にも大きく掲載され、協会が取り組んでいる地域に密着した社会貢献活動が広く紹介されました。

(添付資料「電気新聞(H30.01.18)」)

以上

境は、電力システム改革の動向がいまひとつ不透明で、電力業界は厳しかったが、一般のお客さまの設備投資が伸びるなど、業績はほ



きんでん社 前田 幸

多様な人材を
人材の確保・育成については。
「新卒採用については関西の会社ではあるが、全国を見据えた均

働き方改革に對し、どのように取り組むか。
「若い方が望むような職場、業種になるよう、働き方改革が求め

関西電力グループの中で役割については。
「電力の安定供給を支えるのが全て。厳しい経営環境に直面する

め、何をしなければならぬか理解してくれていると思う。変化の激しい時期、中期経営計画を全社員で元気に推進していく」

年は欧米系企業引き合いも増加している。
アジ

任大で取り組み推進

改値目標、意見募集も

12月に中間報告をまとめた。今後は各意見についてアクションプランを作成して進捗を

オロし、業務革新に役立てていく。
「中長期要員構想」は、四電工が掲げる20年度の売上高目標を中長期的に確保するた

融通や現場代理人の増強・早期育成などの取り組みを進めることなどを前提とした。その結果、全社の要員は、今後20年間は現状とほぼ同じ21000〜22000人で推移する見通

鹿島現地法人 シンガポールのエンジニア企業買収 アジア地域で初

電気新聞 (H30.01.18掲載)

万改革や生産性向上に取り組む(生産性(1日当たりの売上高)実現に向けて全社員から業務

く、職場から寄せられた意見の数は延べ789件に上った。2千人余りの従業員からこれだけの

九州盲導犬協に寄付金

九州保安協 福岡支部 地域貢献活動の一環

九州電気保安協会福岡支部(松野正光理事・支部長)は11日、地域貢献活動の一環として九州盲導犬協会(福岡県糸島市)に寄付金10万円を贈呈した。

犬の育成には多額の費用や長い訓練期間が必要だと話し、(寄付金が)視覚障がい者の一助となれば」と述べた後、田中久也・九州盲導犬協理事長に目録を手渡した。今後の地域貢献活動について松野支部長は「今ま

川崎火力発電所 見学会を開催 空気調和・衛生工学会



贈呈式に出席した松野支部長(右から3人目)と田中理事長(同2人目)

業界から2氏選出

職長厚労大臣顕彰

業界と地域の飛躍誓う

川崎火力は月に発電設備新し、世界最